

2026年6月2日

一般社団法人ジャパンラグビーリーグワン
NTT 株式会社
NTT ドコモビジネス株式会社

NTT ジャパンラグビー リーグワン 2025-26 プレーオフトーナメント決勝の舞台で IOWN[®]を活用したリモートによるTMOを実施

～低遅延伝送によりリモートでのビデオ判定を実現し、将来的なレフリングの向上に貢献～

一般社団法人ジャパンラグビーリーグワン（以下、JRLO）、NTT 株式会社（以下、NTT）、NTT ドコモビジネス株式会社（旧 NTT コミュニケーションズ株式会社、以下、NTT ドコモビジネス）は、2026年6月7日にMUFGスタジアム（国立競技場）にて開催されるNTT ジャパンラグビー リーグワン 2025-26 プレーオフトーナメント決勝の舞台において、docomo business APN Plus^{*1}を活用したリモートによるテレビジョンマッチオフィシャル（以下、TMO）^{*2}を実施します。

今回の取り組みでは、TMO と呼ばれる、ビデオ映像を用いた判定および検証を、MUFG スタジアムから離れた大手町プレイスにいる TMO 担当者がリモートで実施します。TMO 担当者の拠点と競技会場を docomo business APN Plus で接続することで、大容量・低遅延かつ高品質なビデオと音声伝送を可能にし、リモートでの TMO を実現します。

また、多くのスポーツ協賛に携わる NTT グループとしても、スポーツのレフリングにおける IOWN[®]^{*3} 活用については、実証ではなく本番運用は初めての挑戦となります。

1. 取り組みの背景と目的

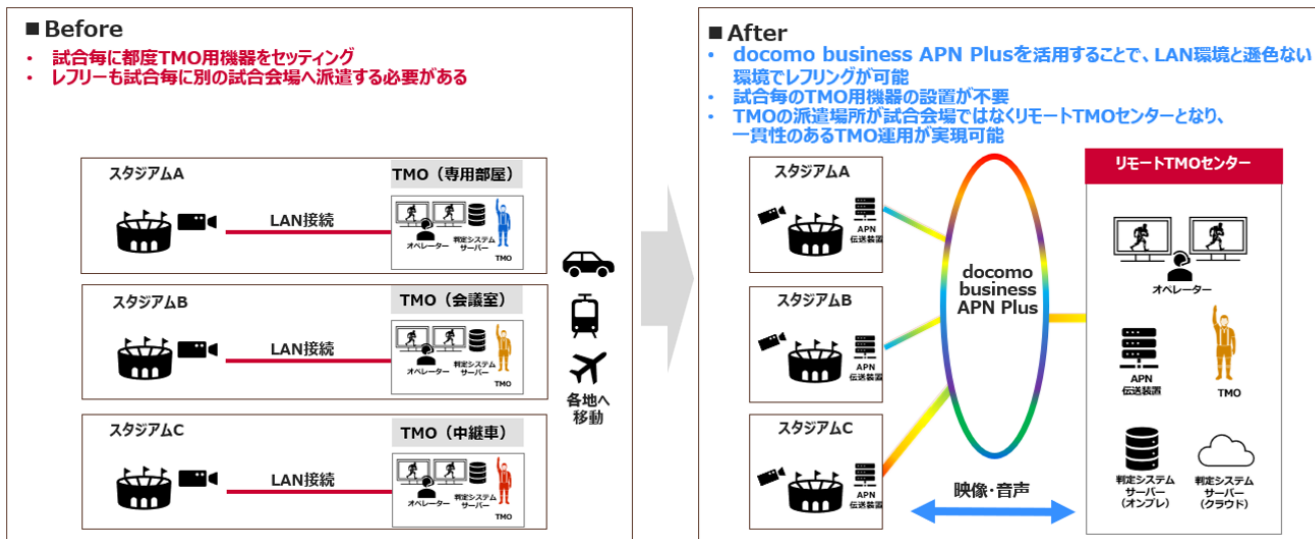
NTT ジャパンラグビー リーグワンは、2022年のリーグ創設から5シーズン目を迎え、参加チーム数は計26チームに増え、年間の試合数は223試合まで拡大しています。全国各地で毎週開催される試合のうち、ディビジョン1とディビジョン2の計178試合（ディビジョン1の108試合とプレーオフトーナメント6試合、ディビジョン2の56試合、入替戦8試合）を対象に、TMOが実施されています。一方で、密集度が高いラグビーの競技特性上、高度なレフリング技術が求められており、レフリングの向上は世界的に課題となっています。具体的には、試合数増加や、それに伴う同時間帯での複数試合開催に対応するため、専門的な知見を必要とする人材とオペレーターの確保、育成が必要となっていることが挙げられます。また、対象全試合にレフリー、アシスタントレフリーのみならず、TMOを派遣する運用は、人員の移動負荷に加え、機材や人件費のコスト増にもつながっています。

こうした課題を背景に、JRLO、NTT、NTT ドコモビジネスは連携し、特に高度なレフリング技術が求められるTMOをリモートで実施する取り組みを開始します。本取り組みでは、「大容量・低遅延・省電力」を特長とする革新的な通信技術であるIOWN[®]を活用し、光伝送による大容量・低遅延で高品質な映像・音声通信を実現します。これにより、競技会場と離れた拠点にいるTMOによるリアルタイムなビデオ判定を可能としています。

本取り組みにより、将来的にはTMOの拠点を一か所に集約し、一貫性のあるTMO運用を実現することで、審議時間の短縮や、判定精度の向上、レフリング全体の改善につなげることを目指します。さらに、IOWN[®]

の大容量・低遅延通信の特性を活用することで、高精細な映像をリアルタイムに伝送し、より厳密なレフリングへの貢献も可能となります。

■構成図



2. 今後の展望

ラグビーワールドカップ 2027 オーストラリア大会では、判定の「迅速化」と「正確性」を向上させるため、ワールドラグビーが本格的なリモート TMO に取り組む予定です。JRLO では、ラグビーワールドカップ 2027 オーストラリア大会に先駆けて、リモート TMO の導入を進めていきます。

JRLO、NTT、NTT ドコモビジネスは、日本ラグビーの普及促進に加えて、テクノロジーによる課題解決を推進することで、リーグワンがめざす「あなたの街から、世界最高をつくろう。」の実現に向けて今後も取り組んでいきます。

■将来的な TMO のイメージ



■将来的な TMO のイメージ動画

<https://youtu.be/r-PKSg4Gsfg>

(参考) 各社・各組織の役割

各社・各組織	役割
JRLO	レフリング進化をめざした運用監修 場所や人員のリソース提供
NTT	タイトルパートナーとしての継続的な取り組みの推進 NTT グループの技術を活用した継続的な改善提案
NTT ドコモビジネス	事業共創パートナーとしての ICT を活用した課題解決の推進 docomo business APN Plus の提供 ネットワーク設計および運用支援

※1 : docomo business APN Plus とは、NTT が提唱する次世代ネットワーク構想「IOWN[®] (Innovative Optical and Wireless Network)」の要素技術である All-Photonics Network (APN) を活用した、NTT ドコモビジネスのネットワークサービスです。

※2 : テレビジョンマッチオフィシャルとは、ラグビーの試合で、レフリーの判定をサポートするビデオ判定システム、および担当人員。

※3 : IOWN[®]とは、Innovative Optical and Wireless Network。あらゆる情報をもとに個と全体との最適化を図り、光を中心とした革新的技術を活用し、高速大容量通信ならびに膨大な計算リソースなどを提供可能な、端末を含むネットワーク・情報処理基盤の構想です。

<https://group.ntt.jp/group/iown/>

IOWN[®]は NTT 株式会社の商標または登録商標です。